

26年の経験で、県民の声を国政へ

私は県議会議員として7期26年、生活者の声を一貫して届けてきました。熊本の国会議員がすべて自民党となつた今、多様な県民の声が本当に国政に届いているのか。「おかしいことは、おかしい」と言える存在が必要です。

■生活の安心を取り戻すために

物価高、社会保険料の負担、将来への不安。

熊本を歩く中で、皆さまの切実な声を数多く伺ってきました。

政治に必要なのは、数字ではなく、皆さま一人ひとりの「生活を守る覚悟」です。

私は、暮らしの底上げを実現するため、次の4つの改革に取り組みます。

平和・生活を守る
くわじ
アルズに
直球

■働く人を守る「本当の働き方改革」

現在の働き方改革は、時間外労働の上限緩和や裁量労働制の拡大など、労働者の命と健康を軽かず方向に進んでいます。

厚労省調査では、上限を超えて働きたい人はわずか0.1%。

一部の要望のために99.9%の働く人を危険にさらすべきではありません。

私は、企業・団体献金に左右されない立場から、働く人を守る改革を進めます。

■熊本の安全を守る：健軍駐屯地のミサイル配備問題

健軍駐屯地への長射程ミサイル配備が進められています。

半径2キロ以内には学校・病院・保育園など約60の公共施設があり、多くの家族が暮らしています。

住民説明もないまま進むこの計画に、強い懸念を抱いています。

熊本の安全と暮らしを守るために、国に対し丁寧な説明を求めます。

■4つの経済・生活支援策

① 食料品の消費税ゼロ

毎日の買い物に直結する負担を軽減し、家計にゆとりを取り戻します。
一時的な給付ではなく、恒久的な「ゼロ税率」を目指します。

② 社会保険料の負担軽減

「働いても手取りが増えない」現状を変えます。
事実上の“第二の税金”となっている社会保険料を見直し、働く人の可処分所得を増やします。

③ 行き過ぎた円安の是正

物価高の根本原因である円安に対し、責任ある金融・経済政策を求めます。
円の価値を守り、輸入コストを抑え、物価そのものを引き下げます。

④ 財源の確保

増税の前にやるべきことがあります。
眠ったままの基金の活用、政府系ファンドの設計、予算の抜本的組み替え。
しがらみにとらわれない視点で、必要な財源を生み出します。

平和を守る。くらしを守る。働く人の立場に立つ政治を取り戻す。
そのために、私は全身全霊で取り組みます。

どうか、皆さまの確かな一票を、かまたさとるへお寄せください。

PROFILE

- 1965年(昭和40年)1月2日 熊本市生まれ
- 熊本市立力合小学校、城南中学校、熊本西高等学校 卒業
- 1983年 電電公社(現NTT)入社
- 1999年 熊本県議会議員 初当選(7期連続当選)



かまたさとる

中道改革連合公認

比例区は 中道へ